

Title	活動報告
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学グローバルCOEプログラム論理と感性の先端的教育研究拠点
Publication year	2011
Jtitle	Newsletter Vol.17, (2011. 10) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12002003-00000017-0072

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2011年9月16日に、数学の哲学セミナーとして、専修大学教授である金子洋之教授をお招きし「『演繹の正当化』とその周辺」というタイトルで講演していただいた。また、慶應義塾大学大学院博士課程在籍中の高橋も、「フレーゲとヒルベルト的形式主義」というタイトルで講演をした。

金子教授は、数学基礎論における「直観主義」の哲学的基礎に関する研究を近年の研究主題とされている。本講演では、これまでの研究成果を背景に、数学の哲学における伝統的問題と言える「演繹の正当化」の問題が検討された。金子教授の考察は、M. ダメットが導入した概念である「カノニカルな証明／カノニカルでない証明」を手がかりとしながらも、独創的で示唆に富むものであり、活発な議論が交わされた。高橋は、フレーゲが「無矛盾性」

の概念をどうとらえていたかについての検討を手がかりに、フレーゲの立場と形式主義との関係を再考した。

表現を変えれば、特に金子教授の講演は、「論理」のもつ演繹的側面とわれわれの「認識」の間の謎めいた関係を明らかにしようとするものであり、本研究センターの趣旨に沿った有益なセミナーが開催されたと言える。(高橋優太)

On September 16th, 2011, Professor Hiroshi Kaneko and Graduate Student Yuta Takahashi gave lectures on philosophy of mathematics. We had fruitful discussions about the relationship between logical and cognitive aspects of mathematics.

活動報告

タイトル	開催日・会場	主催・共催・企画	企画者	講演者・参加者
Phenomenality as a psychological construction	7月8日 三田キャンパス 研究室棟A会議室	脳と進化班	渡辺 茂	Jerome Sackur(仏・ENS)
高校生のための体験的脳科学実習	7月25日～29日 三田キャンパス 423教室	文学部とGCOE 共同企画 (未来先導基金)	川畑秀明 染谷芳明	
多元的統合感覚と生・美の諸相： 人類学・美学の境域の地平	7月30日 三田キャンパス 東館6FG-sec Lab	慶應義塾大学 GCOE「論理と感性の先端的教育研究拠点形成」文化人類学チーム	宮坂敬造	David Howes(School of Graduate Studies, Concordia University)、岡崎彰(一橋大学教授、文化人類学)、加藤有希子(立命館大学グローバルCOE生存学プロジェクト特定研究員、美学)、島田洋介、モハーチ・ゲルゲイ、三宅博子、照山純子、ほか
脳の講習会	8月1・2・3・5日 三田キャンパス 東館4Fセミナー室	脳と進化班	小嶋祥三	小嶋祥三
感性ワークショップ (アートにふれる・心にふれる)	8月4日 三田キャンパス 東館6FG-SEC Lab	脳と進化班、哲学・文化人類学班	川畑秀明・後藤文子	
慶應義塾大学英語教育/ 言語教育シンポジウム 「学習英文法」	9月10日 日吉キャンパス	言語と認知班	大津由紀雄	江利川春雄(和歌山大学)、大津由紀雄(慶應義塾大学)、齋藤兆史(東京大学)、田地野彰(京都大学)、鳥飼玖美子(立教大学)、山岡大基(広島大学附属福山中・高等学校)、 討論者：久保野雅史(神奈川大学)、松井孝志(山口県鴻城高等学校)、 討論参加型司会者：柳瀬陽介(広島大学)
animal2011 4学会共催シンポジウム	9月8日～11日 三田キャンパス	日本動物心理学会 日本動物行動学会 応用動物行動学会 日本家畜管理学会	—	
animal2011 GCOE共催 基調講演[Numerical competence in Grey Parrots: Similarities to and difference from that of young children]	9月9日 三田キャンパス 西校舎517教室		渡辺 茂	Irene M. Pepperberg(Harvard University&Brandeis University)
・慶應義塾大学人文GCOE(CARLS) ・日本学術会議共催・Animal 2011 サテライト公開シンポジウム 「イヌを学ぶ、イヌに学ぶ」(仮題)	9月11日 三田キャンパス		長谷川一 (東京大学)	Adam Miklosi(Eotvos Lorand大学)、村山美穂(京都大学)、 菊水健史(麻布大学) 指定討論者：藤田和生(京都大学)、永澤美保(麻布大学)
数学の哲学セミナー	9月16日 三田キャンパス		秋吉亮太	金子洋之(専修大学)、高橋優太(慶應義塾大学)
国際シンポジウム Toward an Integration of Logic and Sensibility —from Neuroscience to Philosophy—	9月12・13・14日 三田キャンパス 北館ホール		渡辺 茂	Ludwig Huber (University of Vienna, Austria)、Hans-Joachim Bischof (Bielefeld Univ., Germany)、Zang-Hee Cho (Neuroscience Research Institute, Gachon University of Medicine and Science, Korea)、Toru Shimizu (University of South Florida, USA)、Dominique Lestel (École Normale Supérieure, France)、Allan Young (McGill Univ., Canada)、Yael Sharvit (University of Connecticut, USA)、Sacha Bourgeois-Gironde (École Normale Supérieure, France)、浅田稔(大阪大学)、 下嶋篤(同志社大学)、Lajos L. Brons(日本大学)、GCOE事業推進担当者
第34回日本神経科学大会 Neuroscience2011	9月14日～17日 パシフィコ横浜		尾島司郎他	